

夏目漱石来熊 130年記念シンポジウム

いま

現在をどう生きるか!

~漱石先生から学ぶ言葉と精神~



令和8年 9月6日 日

時 間

13:00-15:30

場 所

熊本県立劇場演劇ホール

参加者

800名 (入場無料)

主催 漱石文化みらい会議くまもと実行委員会

特別協賛 (株)肥後銀行

協賛 (株)熊本銀行 出田眼科病院 熊本機能病院 (株)ヒライ シアーズホームグループ
(株)前田産業 NTT西日本 熊本トヨタ自動車 熊本国際観光コンベンション協会
(株)金剛 RKK TKU KKT (株)ツカサ総研 (株)中九州クボタ (株)エムロード

助成 (一財)熊本公德会 熊本県文化協会

後援 熊本県 熊本県教育委員会 熊本市 熊本市教育委員会 熊本日日新聞社
NHK熊本放送局 RKK TKU KKT KAB FMK FM791



夏目漱石記念年

\スマホで簡単申込!/



Googleフォーム

価値観が揺れ動く時代、「自分らしく生きるとは何か」
を問い続けた夏目漱石。

情報が氾濫し、孤独や不安を抱えやすい現代にこそ、
彼の言葉は私たちの“生き方”に新しい視点を与えてくれます。

「難しそう」と感じる方にも楽しんでいただける、
自分の生き方を見つめ直すきっかけとなるシンポジウムです。

コーディネーター / 姜尚中氏(東京大学名誉教授・熊本県立劇場館長)

1950年、熊本市生まれ。早稲田大学大学院政治学研究科博士課程修了。

現在東京大学名誉教授、鎮西学院学院長、鎮西学院大学学長。2016年1月より熊本県立劇場館長に就任。

専攻は政治学、政治思想史。テレビ・新聞・雑誌などで幅広く活躍。



シンポジスト / 小森陽一氏 (東京大学名誉教授・和光学園理事長・夏目漱石研究者)

北海道大学大学院修了、東京大学名誉教授。近代日本文学研究者(構造主義記号論)。和光学園理事長。著書は『感染症の時代と夏目漱石の文学』『夏目漱石「心」を読み直す 病と人間、コロナウイルス禍のもとで』『戦争の時代と夏目漱石 明治維新150年に当たって』など。



シンポジスト / 飛ヶ谷美穂子氏 (比較文学者 著書『漱石の源泉 創造への階梯』)

慶應義塾大学文学部卒、同文学研究科修士了。日本比較文学会、日本近代文学会、日本ヴィクトリア朝文化研究学会に所属。単著に『漱石の源泉 創造への階梯』『漱石の書齋 外国文学へのまなざし 共鳴する孤独』、共著に『夏目漱石における東と西』など。



シンポジスト / 平田オリザ氏 (劇作家・演出家・芸術文化観光専門職大学学長)

芸術文化観光専門職大学学長、青森県立美術館館長、劇作家・演出家・劇団青年団主宰。著書に『寂しさへの処方箋 一芸術は社会的孤立を救うか』『芸術立国論』『わかりあえないことから』『演劇入門』『演技と演出』『下り坂をそろそろと下る』など。



シンポジスト / 牧村健一郎氏 (元朝日新聞記者 著書『旅する漱石先生』)

神奈川県大船生まれ。早稲田大学卒後、朝日新聞学芸部(文化部)、AERA編集部、be編集部などで昭和史、近代文学、夏目漱石を担当。著書に『評伝 獅子文六』『漱石と鉄道』『新聞記者夏目漱石』、編著に『新聞と戦争』など。山、温泉、ビールを愛する。



プログラム

13:00	表彰式	漱石の名作を漫画で描く作品「夢十夜」 入賞者
13:30	第一部	テーマトーク ~漱石を語る~
14:20	リラックスタイム	音楽の調べに乗せて 朗読「わたしの個人主義」
14:30	第二部	漱石先生に聞いてみよう
15:20	まとめ	
15:30	閉会	

申し込み方法

住所、氏名、連絡先、年齢を明記し、ハガキまたはE-mail、
Google フォームでお送りください。

◆送付・問い合わせ先

漱石文化みらい会議くまもと事務局

〒862-0941 熊本市中央区出水 2-5-1 県立図書館気付 熊本県文化協会内

E-mail: miraikaigikumamoto@gmail.com

☎: 070-3630-2697 (土日祝日休み 10時~17時)

＼スマホで簡単申込！／



Google フォーム

申し込み期間

令和8年8月5日(水)~令和8年8月28日(金)